

共同発表

ブラジル日本商工会議所とブラジル農牧研究公社との連携体制の構築について

ブラジル日本商工会議所（CGIJB）とブラジル農牧研究公社（EMBRAPA）は、2017年7月7日にサンパウロで開催された、第3回日伯農業・食料対話において、EMBRAPAとCGIJBの連携体制の構築について意見交換を行いました。

1. ブラジルと日本との間では、これまで長年にわたり、農業及び食品分野において、民間企業によるビジネス活動や研究機関による研究協力が行われてきました。
2. ブラジルのアグロビジネスは高い潜在性を有しており、日本の民間企業は、ブラジルの農業及び食品分野に貢献できる高い技術を有しています。
3. 今後、農業及び食品分野において、民間企業と研究機関の連携の重要性が一層増していきます。
4. 上記を踏まえ、EMBRAPAとCGIJBは、連携のメカニズムを立ち上げるための対話を開始することとしました。
5. 両者は、連携体制の下、可能な学術協力案件を検討し、お互いの技術と知見を組み合わせることで、農業及び食品分野において、民間セクターの活動を活発化させ、研究及び技術イノベーションを促進することを目指します。
6. 今後、連携体制構築の具体化に向け、両者で協議を続けていきます。

2017年7月7日